

報告書の全体構成について
(案)

題 名 「提言 大学教育の分野別質保証の在り方について」

作成者 日本学術会議 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会

要 旨 (作成の背景、現状及び問題点、提言の内容)

目 次

本 文

はじめに

本委員会の設置の経緯と審議の経過

第一部 分野別の質保証の枠組みについて 一教育課程編成上の参照基準の策定

第二部 教養教育について

第三部 大学と仕事との接続について

おわりに

※ 12月中を目途に報告書を「提言」として取りまとめて、日本学術会議会長から文部科学省高等教育局長に対して回答を行う。(それまでに中長期的な参照基準の運用の在り方(改訂や追加等)についても検討を行う。)

※ 今後順次策定する個別の分野の参照基準は、文部科学省に対して回答するという形はとらず、日本学術会議独自の「報告」として策定する。

※ ただし、学位に付記する専攻名称の在り方については、文科省・中教審と適切に連携しつつ審議を行い、もう一つの「提言」として取りまとめて、日本学術会議会長から文部科学省高等教育局長に回答を行う。

注) 日本学術会議の意思の表出の形態として、勧告、声明、要望、提言、報告の5種類があり、内容に応じて適切な形態を選択することとしている。